

CKD

第95期
株主通信
2014.4.1~2015.3.31

CKD株式会社

証券コード :6407

株主・投資家の皆様へ



代表取締役社長 **梶本 一典**

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第95期(2014年4月1日から2015年3月31日まで)の営業の概況及び決算内容につきましてご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、4月に行われた消費税率引き上げにより急速に落ち込みましたが、政府の景気刺激策や日銀の金融緩和追加策により年度後半には回復してまいりました。また、企業収益も為替が円安に変動したことや原油価格の低下などから改善に向かい、製造業の設備投資も緩やかながら増加いたしました。

海外経済は、米国では個人消費とともに雇用や所得環境も改善に向かいました。アジアでは、成長のスピードは鈍化したものの総じて安定的な成長を維持いたしました。一方、回復が期待された欧州は、ギリシャ問題の影響から低調な動きにとどまりました。

このような状況のもとで、当社グループの当期における連結業績は、売上高83,379百万円(前期比10.4%増)、営業利益8,363百万円(前期比6.1%増)、経常利益8,735百万円(前期比7.4%増)、当期純利益6,010百万円(前期比10.2%増)となりました。

当社グループでは、中期経営計画「GLOBAL CKD 2015」に基づき、国内外の成長業種と新興国を含めた海外市場への取り組みをさらに強化してまいります。

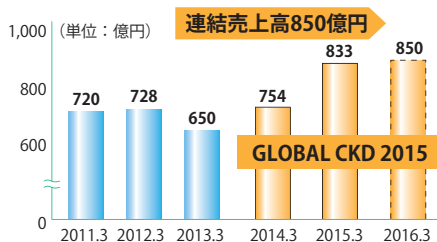
なお、当期の期末配当金につきましては、1株当たり13円とさせていただきます。また、昨年12月にお支払いした中間配当金1株当たり11円と合わせて、年間配当金は1株当たり24円となりました。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

対処すべき課題

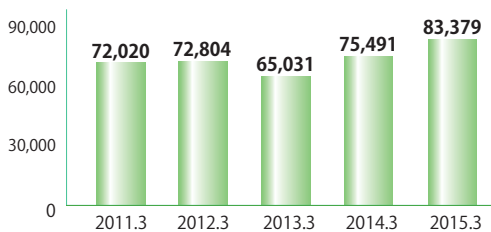
当社グループは、2013年度よりスタートした中期経営計画「GLOBAL CKD 2015」に基づき、中長期的な経営戦略のもとで、次の通り対処すべき課題に取り組んでまいります。

- ①商品のGLOBAL化
- ②販売のGLOBAL化
- ③生産のGLOBAL化

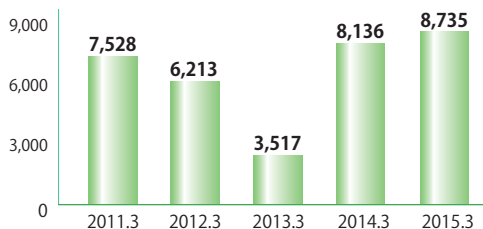


財務ハイライト(連結)

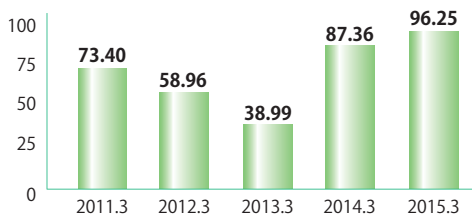
売上高 (単位：百万円)



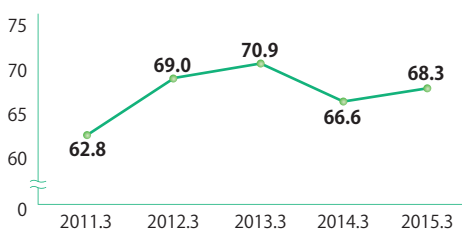
経常利益 (単位：百万円)



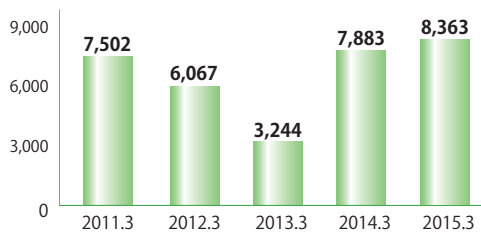
1株当たり当期純利益 (単位：円)



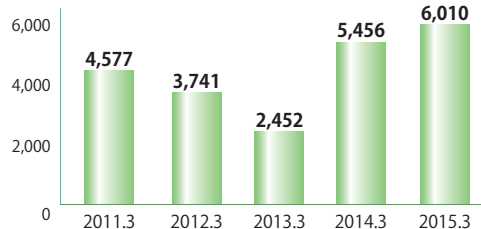
自己資本比率 (単位：%)



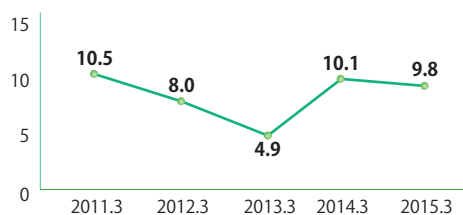
営業利益 (単位：百万円)



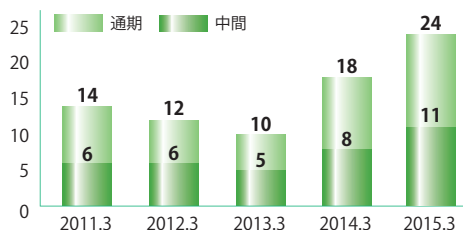
当期純利益 (単位：百万円)



自己資本利益率(ROE) (単位：%)



配当金 (単位：円)



TOPICS 1 新規海外販売法人設立(ベトナム・インドネシア)について

2014年度には、海外拠点の展開を積極的に行いました。2015年末に経済統合が予定されているアセアン地域で2014年7月にはCKD VIETNAM ENGINEERING CO., LTD. (ベトナム)、2014年10月にはPT CKD TRADING INDONESIA (インドネシア)を設立しました。また、世界的なトップ自動車メーカーの投資が加速するメキシコにおいても、CKD MEXICO, S. de R.L. de C.V.を2015年3月に設立、営業開始に向け準備中です。グローバルな生販ネットワークを構築し、最適な事業展開と市場拡大に取り組んでまいります。



ベトナム販売法人



インドネシア販売法人

TOPICS 2 新規海外生産法人設立(インドネシア)について

2015年6月、海外生産法人PT CKD MANUFACTURING INDONESIAの工場が稼働します。アセアン地域でタイ、マレーシアに続き3番目の生産拠点となるインドネシアは、広大な土地と世界第4位の人口を抱える自動車業種を中心に成長著しい新興国です。その自動車業種をターゲットに、空圧シリンダの納期対応、簡易特注対応、メンテナンスサービスを提供するため、主力機種 of の現地生産体制を整えました。約1,000㎡の工場には生産ラインの他に、お客様に当社の製品をより知っていただくためのセミナールーム兼ショールームを設け、2014年10月に営業開始したインドネシア販売法人と連携して、新規市場の拡大に取り組めます。

また、現地生産品以外の需要に対しては、継続的に生産機種を追加するとともに、タイ、マレーシア工場と連携し、アセアン地域全体の事業拡大に貢献してまいります。



インドネシア生産法人

TOPICS 3 小牧本社工場内に新工場建設

自動機械事業の国内拠点マザー工場化の一環として、薬品自動包装システムを一貫生産する組立工場を2015年8月の完成に向け建設中です。新工場は、全館LED照明、高断熱性能の外装、コージェネレーションシステム導入による省エネ化を図ります。他の既存工場は最新の工作機械を導入し、新工場との連携を高め、開発、技術力を強化し小牧本社工場全体として生産力を引き上げます。今後は事業拡大と共に海外工場への支援を強化してまいります。



TOPICS 4 医薬専用ピロー包装機「メディカルピロー HPL-80E」

昨年発売の「エコ集積 HCA-440S」「エコバンド BND-180」に引き続き、2015年3月にピロー包装機において、高能力でありながら安定生産とコンパクト性を両立した医薬専用ピロー包装機「メディカルピロー HPL-80E」を発売しました。



TOPICS 5 ブリスター包装機「エコブリスタ CFF-360E」

ライフスタイルの変化などに伴い、食品市場は大きく成長しています。この状況をビジネスチャンスと捉え、国内で高い評価をいただいている医薬品向けブリスター包装機で培った技術を活かして、食品向けブリスター包装機を20年ぶりにリニューアルいたしました。「食の安全・人の安全・優しさ」を追求した新型ブリスター包装機「エコブリスタ CFF-360E」を発売し、食品市場へ本格的に再参入いたします。



TOPICS 6 アブソデックス 高精密タイプ「AX7000Xシリーズ」

高精密なダイレクトドライブ(DD)アクチュエータ「アブソデックス AX7000Xシリーズ」を発売しました。本製品は、微小な確度の位置合わせや高精度な位置決めが要求されるスマートフォンやタブレット端末の製造工程の自動化ニーズに対応します。今回のAX7000Xシリーズ発売に合わせ、業界初の人工知能(AI)調整機能を搭載した、設定ソフトを用意しました。高精密なアクチュエータを初心者の方でも容易に設定でき、自動化ラインの早期立ち上げなど作業時間の短縮に貢献します。サイズは最大出力トルク22Nmと45Nmの2種類を用意しております。



TOPICS 7 静電容量式電磁流量センサ「WFCシリーズ」

近年、お客様の市場において、設備の自動化や小形化に伴い、メンテナンス性、設置性の良い機器の要求が強くなっています。静電容量式電磁流量センサ「WFCシリーズ」は流路に電極(検出部)のない構造のため、ゴミ・異物に強く、使い易さを追求したモデルです。主にスポット溶接機の冷却水管理、水溶性クーラント液の流量管理などで使用できます。流路部は、流路の流れを安定させる構造にしたため直管部を設ける必要がなくなり、従来比で最大約60%の配管スペース削減を実現しました。また、発生するノイズによる相互干渉を防ぐことで、複数設置時でも隙間なく並列に設置することも可能となりました。接続口径(流量範囲)は、3種類を用意しております。



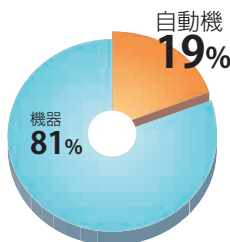
自動機械部門

自動機械部門につきましては、薬品自動包装システムは、消費税増税の反動から売上が減少いたしました。一方、リチウムイオン電池製造システムと三次元はんだ印刷検査機は、環境対応車などの車載用及び情報通信機器用の売が増加いたしました。

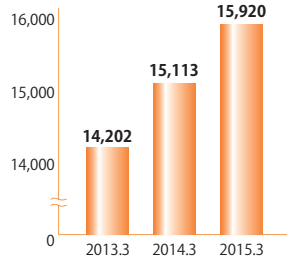
海外市場では、中国でのスマートフォン関連、東南アジアでの車載向け電子機器業界の好況により、三次元はんだ印刷検査機の売が増加いたしました。

その結果、売上高は15,920百万円(前期比5.3%増)、営業利益は2,182百万円(前期比12.2%増)となりました。

売上高構成比



売上高推移 (単位: 百万円)



● 自動包装システム

〈医薬〉



薬品包装



医療機器包装



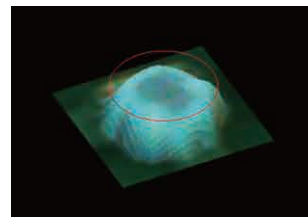
〈食品〉



● リチウムイオン電池製造システム



● 三次元はんだ印刷検査機



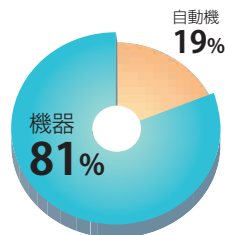
機器部門

機器部門につきましては、国内市場では、内外需ともに好調な工作機械向け、環境対応や電子化への投資が続く自動車業界向けなど、幅広い業種の設備投資回復を受けて売上が増加いたしました。

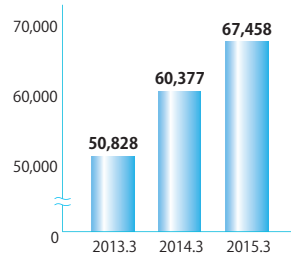
海外市場では、情報通信機器の設備投資が活発だった中国と台湾、半導体業界向けと自動車業界向けが好調だった米国の売上が増加いたしました。

その結果、売上高は67,458百万円(前期比11.7%増)、営業利益は8,842百万円(前期比5.7%増)となりました。

売上高構成比



売上高推移 (単位: 百万円)



● ファインシステム機器



● 流体制御機器



● 省力機器



● 電動アクチュエータ



● 空気圧機器



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当期 2015年3月31日現在	前期 2014年3月31日現在
資産の部		
流動資産	60,507	56,739
現金及び預金	11,750	9,982
受取手形及び売掛金	21,459	19,548
営業未収入金	1,938	2,751
有価証券	3,499	4,000
商品及び製品	4,363	3,691
仕掛品	3,229	2,103
原材料及び貯蔵品	11,712	10,805
繰延税金資産	1,477	1,562
その他	1,109	2,363
貸倒引当金	△33	△68
固定資産	35,511	29,971
有形固定資産	24,851	22,728
建物及び構築物	10,537	7,229
機械装置及び運搬具	7,505	5,717
工具、器具及び備品	1,200	896
土地	4,486	4,474
リース資産	36	75
建設仮勘定	1,085	4,336
無形固定資産	817	749
投資その他の資産	9,842	6,492
投資有価証券	6,913	5,229
退職給付に係る資産	1,984	511
繰延税金資産	128	155
その他	845	623
貸倒引当金	△29	△27
資産合計	96,018	86,711

単位:百万円

科目	当期 2015年3月31日現在	前期 2014年3月31日現在
負債の部		
流動負債	23,170	24,734
支払手形及び買掛金	12,368	10,492
短期借入金	1,151	1,546
1年内返済予定の長期借入金	770	520
リース債務	32	46
未払費用	2,767	2,541
未払法人税等	681	2,544
賞与引当金	138	101
製品保証引当金	218	282
受注損失引当金	52	218
その他	4,990	6,441
固定負債	7,292	4,264
長期借入金	3,490	1,380
リース債務	5	31
繰延税金負債	2,256	1,049
退職給付に係る負債	206	165
資産除去債務	138	136
その他	1,195	1,501
負債合計	30,463	28,999
純資産の部		
株主資本	59,807	55,057
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,737	12,737
利益剰余金	40,611	35,913
自己株式	△4,557	△4,609
その他の包括利益累計額	5,747	2,654
その他有価証券評価差額金	2,453	1,247
為替換算調整勘定	3,371	1,848
退職給付に係る調整累計額	△77	△440
純資産合計	65,555	57,712
負債純資産合計	96,018	86,711

連結損益計算書

単位:百万円

科 目	当期	前期
	自:2014年4月1日 至:2015年3月31日	自:2013年4月1日 至:2014年3月31日
売上高	83,379	75,491
売上原価	57,939	52,339
売上総利益	25,439	23,151
販売費及び一般管理費	17,076	15,268
営業利益	8,363	7,883
営業外収益	596	505
営業外費用	225	251
経常利益	8,735	8,136
特別利益	504	306
特別損失	464	65
税金等調整前当期純利益	8,775	8,377
法人税、住民税及び事業税	2,120	2,866
法人税等調整額	643	54
少数株主損益調整前当期純利益	6,010	5,456
当期純利益	6,010	5,456

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科 目	当期	前期
	自:2014年4月1日 至:2015年3月31日	自:2013年4月1日 至:2014年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	6,226	9,754
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,755	△6,224
財務活動による キャッシュ・フロー	618	△2,330
現金及び現金同等物に 係る換算差額	368	451
現金及び現金同等物の 増減額(減少△)	2,458	1,651
現金及び現金同等物の 期首残高	9,831	8,180
現金及び現金同等物の 期末残高	12,290	9,831

連結株主資本等変動計算書 当期(自2014年4月1日 至 2015年3月31日)

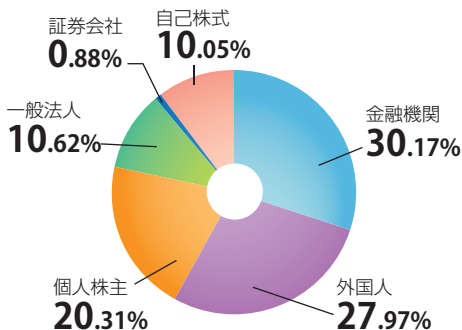
単位:百万円

	株主資本				その他の包括利益累計額					純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	11,016	12,737	35,913	△4,609	55,057	1,247	1,848	△440	2,654	57,712
当期変動額										
剰余金の配当			△1,311		△1,311					△1,311
当期純利益			6,010		6,010					6,010
自己株式の取得				△0	△0					△0
自己株式の処分		0		52	52					52
従業員奨励福利基金等			△1		△1					△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						1,206	1,523	363	3,093	3,093
当期変動額合計	-	0	4,698	51	4,749	1,206	1,523	363	3,093	7,843
当期末残高	11,016	12,737	40,611	△4,557	59,807	2,453	3,371	△77	5,747	65,555

会社概要

株式の状況 (2015年3月31日現在)

発行可能株式総数 233,000,000 株
 発行済株式総数 69,429,349 株
 株主数 7,908 名
 所有者別株式数の分布



大株主 (2015年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4,440	7.11
CKD持株会	3,087	4.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,924	3.08
住友生命保険相互会社	1,914	3.06
三井住友海上火災保険株式会社	1,610	2.58
株式会社三井住友銀行	1,581	2.53
CKD協力企業投資会	1,552	2.49
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	1,526	2.44
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE-HCROO	1,497	2.40
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,423	2.28

(注) 上記持株比率は自己株式を除いて計算しております。

会社概要 (2015年3月31日現在)

社名 CKD株式会社
 設立 1943年4月2日
 資本金 11,016,380,748円
 本社 〒485-8551
 愛知県小牧市応時二丁目250番地
 代表電話: (0568)77-1111
 従業員数 2,012名 (連結3,294名)
 主要な事業内容 自動機械装置及び省力機器、空気圧制御機器、駆動機器、空気圧関連機器、流体制御機器など機能機器の開発・製造・販売・輸出

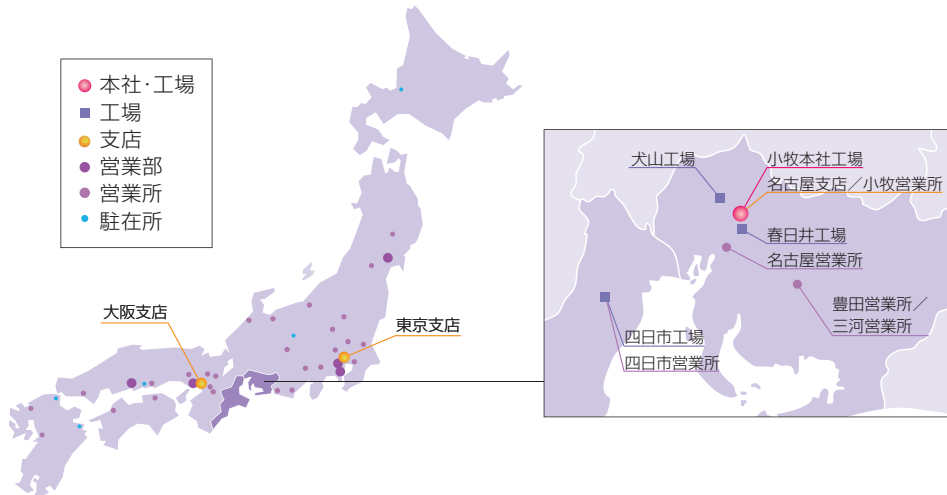
役員 (2015年6月23日現在)

取締役		執行役員	
代表取締役社長	梶本 一典	専務執行役員	野澤 好令
代表取締役	野澤 好令	執行役員	徳田 重友
取締役	徳田 重友	執行役員	西尾 竜也
取締役	西尾 竜也	執行役員	内永 恭一
社外取締役	加川 純一	執行役員	高橋 卓也
社外取締役	浅井 紀子	執行役員	山内 吉一
		執行役員	種瀬 雅久
		執行役員	市村 理明
監査役		執行役員	湯原 真司
常勤監査役	坪井 和巳	執行役員	岩田 徹
社外監査役	林 公一	執行役員	奥岡 克仁
社外監査役	南谷 直毅	執行役員	国保 雅文
社外監査役	澤泉 武		

グローバルネットワーク



国内ネットワーク



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	当社のホームページに掲載する。(http://www.ckd.co.jp/japanese/ir/bspl.htm)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所及び名古屋証券取引所 市場第一部 (証券コード6407)
ホームページアドレス	http://www.ckd.co.jp/
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所(郵便物送付先)	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(ホームページアドレス)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会は、上記の電話照会先をお願いいたします。

自動化で未来を拓く

CKD

